

福祉 おおばやし

編集・発行
大林地区
社会福祉協議会

地域の宝子供たちに安心安全な環境づくり 大林地区社会福祉協議会会長 上岡 晴美

今年の冬は暖かく桜の開花も例年に比べずいぶん早いと思える今日この頃、皆様方には、ご健勝にお過ごしのことと申します。

日頃より各地区、各団体での活動にご尽力・ご支援を頂き有難うございます。

大林地区社会福祉協議会では民生委員さんを始め、各種団体や地域の皆様方のお力添えを頂き、高齢者・障害者・学童等の見守り・支援活動やサロン活動、クラブ活動等で地域の多くの方との交流の場・ふれあいの場を設けて頂きコミュニケーションが実感できる場づくり、健康づくり、体力づくりの推進を図って頂いています。

一昨年9月から地域の宝である、大林小学校児童の安心・安全確保のために、登下校時の見守りボランティア活動を各種団体の方々のご協力を得て実施頂いています。

従来は当地区は暖かい人柄と人間関係が良好な為に事件、事故等の発生も少なく、学童の登下校時の見守りは地区の人が農作業やグランドゴルフ、買い物等の時に注意を払う程度で対応していましたが、昨今の情勢から児童のより安心安全な環境整備のために行なって頂いています。

これまで大きな事故・事件もなく、冬の寒い日も真夏の暑い日も各地区・地点で、それぞれ取り組んで頂いています。

見守り隊全員に昨年1月には広島アルミニウム工業(株)様からジャンパーを今年の2月には山崎製パン(株)様から冬用帽子をそれぞれご寄贈頂きました。

見守り活動は通学路や地域でパトロールをしていることを周りに知らせると共に、大人が姿を見せるだけでも効果はあります。

見守り地点によっては手薄な箇所がまだまだ多数あります。少しの時間、ご都合のよい時間にご協力いただける方は、見回り活動のボランティアにご応募をお願い致します。

これからも、ご近所の付き合い、場づくりを始め気軽に住みやすい・暮らしやすい地域の環境整備をして、だれもがこの街にすみつづきたいと思える魅力ある街づくりを各種団体の方々と共に地域の一人一人が担い手となって、造り上げていきましょう。



安佐北区防災訓練・防災フェア

大林学区自主防災会連合会会長 山本 雅範



令和元年11月10日に実施した「安佐北区防災訓練・防災フェア」におきましては、多数の方に参加・ご協力を頂き誠に有難うございました。女性会、悦寿会の皆様におかれましては、炊き出しのお世話を頂きましたことを、重ねてお礼申し上げます。

おかげさまで、安佐北区内では近年にない参加率で盛大に「防災訓練・防災フェア」を実施することができたとして、安佐北消防署長表彰を受け、表彰状を頂きました。

また、安佐北区の各学区自主防災会の方々からは「統制の取れた、素晴らしい防災訓練だった」と称賛頂きました。

近年地球温暖化の影響で、海水温度が上がり、水蒸気を多量に含んだ大型の低気圧が多数発生し、多くの方が亡くなりました。本年も台風など低気圧の接近には十分気を付ける必要があります。

- ①自分の命は自分で守る
- ②イザというときは誰も助けてくれない
- ③土砂災害は早期の避難が絶対

以上の言葉をしっかりと頭において、災害から身を守って下さい。

来年度は、洪水・土砂災害を想定した避難訓練を実施しますので、多数の参加をお願い致します。

このような状況に対応するため、各自治会に最低1名の防災士を配置することを目標に防災士を募り、今年度5名の防災士が誕生し、合計13名になりました。防災士は、地区自主防災会会長をサポートし、地域でミニ講習会を開いていきますので、ご参加いただきますようお願い致します。



元気のかたまり103名が集う

大林地区 敬老会

令和元年大林地区敬老会が9月16日、大林集会所に於いて開催されました。今年は72歳以上の407名様に案内し、103名が参加されました。

式典は大林地区社会福祉協議会会長の上岡様の挨拶から始まり、米寿を迎えられた8名の方に記念品が贈られました。祝賀会では、地域の皆様による詩吟、民踊、人気のチコちゃんが登場したり、大林小学校児童のパワーをもらい、堪能されていました。祝宴は地元の仕出し弁当で満足して頂き、午後1時半過ぎ来年の再開を楽しみにしながら解散となりました。



愛の灯

次の方々から香典返し等に代えて懇篤なるご厚志を頂きました。社会福祉事業の推進に活用させていただきます。ご厚志に厚くお礼申し上げます。

- 吉本 忠重 様
- 花岡 博文 様
- 新内 稜枝 様
- 稲田 豊様
- 坊和 義様
- 桐本 正文 様
- 大 弥 光 子 様

(平成30年4月～令和2年2月)



民生委員・児童委員紹介

民生委員・児童委員が改選され令和元年12月1日より下記の委員さんが就任・担当されています。(敬称略)

- 山本 裕子(再任) 本郷・洞庭地区
- 東岡 彌生(再任) 大杉・川東・登尾・長迫地区
- 荒川 敏昭(新任) 浜が谷・上大林地区
- 沖野 内匠(再任) 草田・野平谷・桧山地区
- 尺司 守夫(再任) 代田・高谷・石林地区

可部地区青少年意見発表大会

令和元年11月9日、安佐北区総合福祉センターで開催されました。

大林小学校からは、六年生の岸副佑基君が発表しました。

『人数がすくないからできること』について

ぼくたち、大林小学校の全校児童は七十五人です。他の小学校と比べてみると、人数が少ないです。人数が少ないから、びっくりされることもあります。クラス替えもなく、いつも同じメンバーでがんばっています。

ぼくは、ぼくなり、大林小学校の良さを考えてみました。

まず、大林小学校はなかよし班と云うのがあります。なかよし班とは、全校児童のたてわり班のことです。たてわり班でする行事をいくつか紹介します。一つは大林オリエンテーリングです。大林オリエンテーリングでは、全校のたてわり班で協力して、ゲームやクイズを解きます。低学年が困っていたら、上の学年の人が教えたり、助けたりします。

また、なかよし班でする掃除もあります。今は週一回しかないので、もっと増やしたら良いという考えが六年生の中で出てきています。理由は、六年生が一年生に掃除の仕方をもっと伝えることができるからです。

今年から始まったなかよし班交流学习というものもあります。なかよし班で、算数の課題を解き、分からないところは、異学年で教え合い、全員が協力することで、

安心感が生まれ、意欲もアップします。

ぼくたちは、みんな自分の仕事をもっています。人数がすくないから、人任せにせず、自分たちで考えて行動します。

班決めは、まず班長が立候補し、班長会議でメンバーを決定します。リーダー的存在の人が、クラスみんなが笑顔になれるような班を考えてつくります。時間をそんなにかけなくても、休憩時間の内に深い内容のある話し合いができるので、授業に影響しません。でも、時にはうまくいかない時もあります。その時は、また考え直します。

また、クラスの人数が少ない分、先生に相談しやすいし、ぼくたちが意見を発表する機会も増えます。先生やリーダーの指示も通りやすいです。だから、色々なことができてみんなの良さが発揮されるんだと思います。

例え、悲しかったりさみしかったりしてもだれかが笑わせてくれて、みんなが

笑顔で楽しい学校生活を送っています。

このように、学校全体でも、学年でも、少人数としてのたくさんの良さがあります。だから、大変なときはみんな支え合い、嬉しいことはみんなで分かち合っています。

だから、人数がすくないからこそできることをこれからも大切にして、ますます良い小学校にしていきたいし、そのことをみなさんにも知ってもらいたいなと思います。(一部省略・変更しています)



岸副佑基君

待望の川東線開通

川東線は新たな路線を開通させることで、地域の安全、利便性向上、活性化を図るため計画され、長い年月かかりましたが、令和2年7月に開通する運びとなりました。昨年8月には松井市長も現地を視察され「住民の声を実現化するのが行政であり、更なる連帯の輪を強化し、住みやすい環境を皆様で目指しましょう」とおっしゃっていました。

今後も地域の声を行政に繋げていきますので、ご意見・要望をお待ちしています。

完成により歩道も整備されることから、お宮の下の狭い通学路も解消され、安全に通学出来るようになります。





赤い羽根共同募金

ご協力有難うございました。
自治会を通じ会員の皆様から、
大林地区の企業・法人の方々から、
温かいご協力を頂きました。
募金は大林地区社会福祉協議会にも
配分され、大林地区の福祉活動にも
役立っています。



献血のご協力に感謝

大林学区献血推進協会は、令和元年10月1日に広島アルミニウム工業株式会社様のご協力により献血を行い、広島工場の皆様、大林学区の皆様のご協力により、過去最高の107名様から献血を頂きました。ご協力いただいた方々に心よりお礼申し上げます。

